読者の声

145春号を読まれた方から、アンケートはがきで多くの感想をいただきました。その一部をご紹介します。

専修コミュニティの桐沢さんの投稿を読み、価値のある留学をするには、何を達成するかを決め、人一倍努力すべきであるという文に感銘を受けました。その通りですよね。親が捻出する学費負担大きいですもの。就活に活かせる経験をしてほしいものです。**福井・Kさん**

遠く離れて一人で学ぶ息子が、体験している学生生活の一部を垣間見ることができました。**沖縄・Hさん**

大学でも防災訓練があることを知り安心しました。昨年の入学式に出席したときは雨だったので大変でした。今年の入学式の写真を見て、うらやましく思いました。
新潟（新潟）・Kさん

子供が2年生になり、『育友』も2巡目になりました。ふと思い立ち、昨年度の『育友』4冊をもう一度読み返してみました。やはり先輩方の生の声というものは、とても参考になります。各号に掲載される座談会やイキイキ専修人のページを見て、良いことも悪いことも経験して今があるのだと、改めて思います。我が子はどんな経験をして今を過ごしているのか…。**静岡（浜松）・Sさん**

専大生の実態アンケートは興味深かった。通学時間、費用は少なめとはいえ、アパートを借り生活するのはやはりお金がかかる（笑）。本人にも自覚をもって過ごしてもらいたいと思った（もう4年ですが ^^）。**山梨・Kさん**

矢野学長の突然のご逝去を子供から聞いていたので、真っ先にインタビュー記事を読ませていただきました。驚きました。“何物にもとらわれない批判的な目”、それこそが子供が大学生になってから身に付けたものだと日頃から思っていたので、うちの子こそ、「The 専大生」!?（親の欲目です）。少し誇らしく思える記事でした。最期にこのような記事をありがとうございました。矢野学長のご冥福を心よりお祈り申し上げます。**静岡（静岡）・Mさん**

私自身が大学に行っておらず、長男が初めて大学に行くことになったので、何かと不安を感じていますが、『育友』で色々と情報を教えていただき、心強いです。**群馬・Wさん**

新年度特集「未来につながる今」の座談会はとても良かったです。ただ我が子は取り組みの姿勢がだいぶ違うので、心配になりました。**東京多摩・Yさん**